



富山県立大学二十年史発刊に寄せて

富山県知事 石井隆一

富山県立大学は、平成2年4月に日本海側で初めての工学系公立大学として開学し、本年度で20年の節目を迎えました。

この間、絶えず教育研究環境の充実・高度化に努め、平成18年には工学部の2学科を、「機械システム工学科」、「知能デザイン工学科」、「情報システム工学科」、「生物工学科」の4学科に再編するとともに、平成21年には5番目の学科となる「環境工学科」を新設しました。幅広い分野で深い知識と技術を修得できる体制を整え、きめ細かな教育を提供し、科学技術の発展に貢献する優秀な人材を数多く輩出してきたところです。その結果、就職率は常に全国トップクラスを誇り、「就職に強い大学」として高く評価されています。

また、平成16年から、産業界の呼びかけで設立された「富山県立大学研究協力会」の多大なご支援をいただきながら、企業との共同研究などに積極的に取り組むとともに、地域の様々なニーズに応える総合窓口として「地域連携センター」を設置し、地域貢献を進めてきました。

「地域の知の拠点」として、「地域に貢献する大学」として、「ものづくり県 富山」の発展、「21世紀のものづくり」に大きく寄与してきたところです。

これもひとえに、田中学長をはじめ歴代の学長並びに教職員の皆様のご努力とご熱意の賜であり、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

さて、少子・高齢化の進行と人口減少、グローバル化や情報化の進展など、大きく時代が変化するなか、県では、本県の新たな未来を切り拓くため、「元気とやまの創造」に全力を尽くしています。こうした県づくりの基本となるのは「人づくり」であり、創造性豊かにたくましく生き抜く人材の育成に積極的に取り組んでいるところです。

県立大学は、未来を志向する建学の精神とこれまで20年の歴史を礎として、今後とも、明日の富山県や日本をリードする有為な人材を育成するとともに、産業界や地域の活性化に貢献し、大きく発展していかなければなりません。

これからも、県立大学が、「地域に貢献する知の拠点」として、さらなる飛躍を遂げるよう、また、より多くの皆さんに愛され親しまれるよう努めてまいりますので、一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

終わりに、本書の発刊にあたり、ご尽力いただいた皆様に、心から感謝申し上げます。